

お盆明けの巻き返しに期待

盛岡木材センターでは7月になり、先月同様出材量が少なく単価も弱気配。

盛岡共販広葉樹では、ほぼ全ての樹種で値下がりしており、ナラの値段も大きく下がった。一部の樹種(セン、ケヤキ等)ではほとんどパルプと同じ値段の応札しかない。これは、県内のナラを使う大型工場が在庫過剰になっているのと、時期が悪く干割れ材が多いことが原因となっている。しかし、今年は9月初めから広葉樹を集めたいとの声もあり、9月以降は値段を戻すのも早い予想。

スギは先月とほとんど変わらず安値で推移しているが、一部製材所で在庫が少なくなってきた。特に宮古は一般材単価が他と比べて非常に高い。これは木の質も多少の影響があるが、競争する業者がいることによる値上がりが見られる。

また、国有林で出品される低質材が非常に人気を集めている。ほとんどがバイオマスに流れており、当初懸念されていたバイオマス材不足がいまのところは騒がれていない状況。しかし、それに伴いチップ材はかなり不足しているとの声も大きい。

《上段～特選材、下段～一般材》

(m3当たり)

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級 (m)	径級 (cm)	7月21日	7月5日	7月24日	7月4日 7月18日	7月5日	7月6日	7月19日	7月25日	-	7月28日
スギ	2.00	18cm上	6,000	-	6,000	-	-	6,200	6,300	5,800	-	7,000
	3.00	14~18	-	-	11,000	10,900	11,700	8,500	7,300	9,000	-	10,800
	3.65	18~28	10,000	-	11,000	-	12,000	-	-	10,300	-	10,500
	3.65		44,000	28,300		14,000		21,500		32,900		
	4.00	30cm上	13,000	12,000	10800	12,000	11,000	9,000	9,300	13,000	-	10,500
	4.00	10~16	7,500	-	8,500	6,000	-	6,800	7,000	-	-	7,800
落札数量	5,958 m3		861	164	1,054	577	136	452	1148	474	0	1,092
アカマツ	2.20	36cm上	-	-	-	-	11000	-	-	-	-	-
	3.00	14~28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.00	18~28	-	-	8500	-	-	-	-	7,500	-	-
	4.00	30cm上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
落札数量	55 m3		0	0	5	0	20	0	24	6	0	0
カラマツ	4.00	7~13	12,000	-	12,000	-	-	8,500	-	-	-	-
	4.00	14~28	15,000	-	13,800	-	13,450	14,550	14,400	-	-	-
落札数量	562 m3		192	1	114	0	48	104	86	17	0	0
出荷数量	10,396 m3		3,126	604	1,522	739	357	717	1,642	538	0	1,151
落札数量	9,058 m3		2,469	334	1,428	604	232	716	1,642	526	0	1,107
平均落札率	87%		79%	55%	94%	82%	65%	100%	100%	98%		96%
延べ参加者	216名		53	31	22	16	11	21	24	19	0	19

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ		造作用材のポイント
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
	18cm上	14~18	18~28	30cm上	10~16	36cm上	14~28	18~28	30cm上	7~13	14~28	
強気配												1
保合		○	○			○	○	○	○	○	○	2
弱気配	○			○	○							3